

農山漁村地域整備計画における事後評価(神奈川県)

1. 整備計画名 : 治山関連事業計画  
 2. 整備計画年度 : 平成22年度～平成26年度  
 3. 事後評価年度 : 平成27年度

| 項 目            | 評価の内容   |
|----------------|---|
| ①交付対象事業の進捗状況   | 計画した事業内容及び事業量について、実施することができた。   |
| ②事業効果の発現状況     | 山地災害危険地区のうち、山腹崩壊危険地区における山腹工の整備、また、崩壊土砂流出危険地区における溪間工の整備等、それぞれの事業実施により、森林荒廃の拡大の防止が図られ、着実に事業効果は発現されている。                  |
| ③成果目標の目標値の実現状況 | 以下のとおり成果目標を達成した。<br>・山地災害防止機能が確保された集落数<br>目標10集落に対して、実績10集落(目標達成率100%)<br>・土砂流入が緩和された漁場<br>目標1箇所に対して、実績1箇所(目標達成率100%) |
| ④今後の方針         | 整備計画年度を平成27年度～平成30年度(4年間)とする新たな計画を樹立し、今後とも、溪間工や山腹工等による林地の基盤整備や森林整備を実施することによって、山地災害危険地区における山地災害防止機能を更に高めていくこととする。      |